

令和3年度 自己評価書

和歌山市立楠見小学校

梶本 久子

令和4年2月28日

1 教育目標

正しい人権意識や、豊かな心をもち、自ら考え実践するたくましい子どもを育てる。

2 本年度の取組についての評価

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査で県平均との差を一桁以内にする ・授業がわかる(児童90%・教師100%) 	<p>豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しいと感じる(児童90%) ・「心」とびら「J」の活用100% ・いじめの解消率100% 	<p>健やかな体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日朝ごはんを食べた(児童90%) ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した(教師90%) 	<p>地域とともにある学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子がよく伝わった(保護者90%) ・地域・中学校区学校と連携した取組を具体的に実践できた(教師90%)
<p>【P】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 確かな学力の向上 ● 基礎・基本の確かな定着 ● 主体的に学ぶ授業の推進 ● 読書活動の推進 ● 家庭学習の定着 	<p>◎ 道徳教育充実と人権意識向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ いじめや不登校の未然防止、早期発見、早期対応 ◎ 組織的・継続的な生徒指導による児童の規範意識の高揚 	<p>◎ 体力向上の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 基本的生活習慣の確立 ◎ 危機回避能力の育成 ◎ 食育の推進 	<p>◎ 家庭・地域の連携を充実させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 地域の人材、資源活用を推進 ◎ 学校運営協議会を教育活動に生かす
<p>【D】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 学び合いの授業づくり推進のため、外部講師や和歌山大学共同研究事業講師を招聘し、研究授業や協議会を充実し実践力を高めた。 ◎ 学びつ・子どもタイム・自学自習システム、放課後学カフオローアツプ事業で補充学習を行う。 ◎ 「和歌山」の授業づくり基礎・基本3か条「J」の充実を授業で実践し「楠見スタンプカード」を徹底する。 ◎ 学びのルール(楠見つ子スタンプカード)の定着を図る。 ◎ 家庭学習の手引きをもとに、保護者と協力しながら定着を図る。 ◎ 読み聞かせ、家庭読書を推進し、読書クオナーを充実する。 	<p>◎ 「心」とびら「J」生きる力「J」の活用や体験活動を通して、道徳の時間や授業充実に向けた研修を実施すると共に学校全体で道徳教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ いじめアンケートを年間に3回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。 ◎ OSCやSSW、関係機関と連携し、不登校児童の対応にあたる。 ◎ 情報モラルやネット社会に潜む危険性について、保護者とともに学ぶ機会をもつ。 ◎ 生活アンケートや生活目標振り返りを通して、規範意識を養う。 ◎ 人権学習を組織的に計画的に行う。 	<p>◎ 基本的な生活習慣「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨、定着するため、生活子エツクを2回行い、保健だより等で啓発した。 ◎ 関わり合い、技能・運動量・楽しさのバランスを考えて体育授業の工夫を図り、運動に親しむ習慣をつける。 ◎ 休憩時間以外遊びを奨励する。 ◎ 避難訓練や交通安全教室を計画的・実践的に行い、危機回避能力を育成する。 ◎ 養護教諭、担任、栄養士の連携で食育、健康教育の充実を図る。 </p>	<p>◎ 各種便り等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を公開したが、HPで伝えきれなく見てもらう機会が少なかつた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 地域活動へ参加し、積極的な交流を推進し、多様な生き方を学ぶ。 ◎ 保幼小の接続、中学校区の小中の連携を推進・充実する。 ◎ 婦人会や見守り隊の方を講師やゲストに招き、地域に残る文化財等、ふるさと和歌山・楠見を学ぶ機会をつくる。(校区探検・社会見学・清掃活動・校外学習(歴史))
<p>取組の成果と課題(評価結果【C】)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査における県平均との差が依然大きい。 4年国語 R2-7.1p→R3-5.5p 算数 R2-6.2p→R3-6.2p 5年国語 R2-10.1p→R3-10.7p 算科 R2-4.9p→R3-9.6p 理科 R2-11p→R3-16.4p ・わかる授業、問題解決型の授業を実践したと思う児童80.4%(+0.7%) ・教師100% 保護者80.4%(+0.5%) ・低学力児童の学力補充が不十分であったため、個々の学習状況を把握し、指導に生かす。 	<p>・学校が楽しいと感じる児童が93%で、昨年と同様であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートの実施、保護者からの相談によりいじめの早期発見・解決につながった。 ・不登校及び不登校傾向の児童への早期対応の徹底、SCやSSW、関係機関との連携で不登校児童の対応ができた。 ・依然、不登校児童は増加傾向にある。 ・教科横断的な学習の拠点をもちつて道徳のカリキュラムを見直し、計画的にすすめることができた 	<p>・朝食摂取率が93%で、摂取しない児童が固定されており、改善できていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寝は、1〜3年9時、4〜6年10時を守れている児童は32.6%と低く、さらに啓発や指導が必要である。 ・コロナ禍で運動量を保障した体育学習が難しい時期があった。 ・総合的な学習の時間や家庭科・生活科で食育を推進することができた ・命を守るための危険予知・回避能力、行動力は高まったが、自転車乗車時のヘルメット着用率がなかなか上がらない。 	<p>・学校の様子がよく伝わったと感じる保護者は78.4%(5.3p)であった。HP更新をはじめ、タイムリーな情報を積極的に発信する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年で地域の方々との交流、地域とかかわる学習ができた。 ・地域の保育所との連携で入学児童の状況を事前把握できている。 ・保幼小連携のための行事や地域の方々との交流がコロナ禍のため、実施できなかった。
<p>改善方法【A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力を身につけるために、主体的協働的な学習スタイルを定着させる。 ・どの子もわかる授業づくりを目指す。 ・基礎学力定着のために、学力補充「学びつ子どもタイム」で個々の能力・興味に合わせた学習や学び直しを実施する。 	<p>・暴言・暴力を見逃さない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ、問題行動には、迅速に対応し、保護者に速やかに連絡する。 ・人権意識の高揚、いじめ防止につながった実践を共有し、学級経営に生かす。 ・ネット社会に潜む危険性について保護者と学ぶ機会をもつ。 	<p>・引き続き「早寝、早起き、朝ごはん」を呼びかけられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動を存分にできる体育の学習方法を定着させる。 ・命を守る力をつけるために、リアリティのある訓練や安全教室を実施する。 ・歯磨きの励行で、むし菌予防に努める。 	<p>・生活科・社会・総合の授業等において学校運営協議会と連携し、さらに地域教材を開発する。実習や出前授業およびかける。積極的に魅力的な地域教材の開発や研修の機会をもつ。年度初めに学校運営協議会の研修会を開くとともに、希望する地域の人材をリソースにして連携をお願いする。</p>

3 その他の課題

令和3年度 学校運営等に関する評価書

和歌山市立楠見小学校

令和4年2月28日

1 教育目標

正しい人権意識や、豊かな心をもち、自ら考え実践するたくましい子どもを育てる。

2 学校自己評価についてのご意見

指標	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
重点目標に対する	<p>登下校の話題はゲームばかりである。情報モラル・ルール作り等、親への啓発をしていくことが基礎学力をつける一番の方法。</p> <p>読書タイムをすることで落ち着いて学習に入れるのではないかと、また、読解力向上のために取り入れてみるのはいかがでしょうか。</p>	<p>授業で地域の人材と関わっているが、年度当初に人材希望を知らせてくれたら、地域に聞いて交流できる。また、その人たちの地域や仕事に対する思いを聞くことが豊かな心の育成にもつながる。</p> <p>安心して学校に通えるようにするために、いじめや不登校の早期発見・対応が大事であるから、子供たちのことをしっかり見てほしい。</p>	<p>運動が嫌いな子やスポーツの成果が低いのが以前からの課題である。</p> <p>朝食の摂取率が上がったことはいいことであるが、今後朝食は、生活の基本であるから、保護者に理解を求めてほしい。</p>	<p>コミュニケーションの本来の在り方を見直し、学校と地域の連携に層協力したいという意見があり、研修会を開くようにしてほしい。避難訓練では多くの人が協力していて、地域のつながりを感じた。さらに学校行事を地域にわかりやすく知らせる機会を増やしてほしい。</p>
取組状況に対する	<p>授業を参観すると、さらに、落ち着いて学習ができている。ただ、先生が中心で話をしている授業が多い。教室の環境や指導力の差は感じられるもの、全教員が頑張っていることはよくわかった。</p>	<p>不登校の子供が増加傾向にある中で、個々の対応を丁寧にしてほしい。行政のサポート体制を知らない保護者も多い。学校の役割がますます大きくなっていくと思うので、頑張ってください。</p>	<p>体育の授業で運動をしつかりさせたら、休憩時間も運動場で遊ぶ子供が増えるのではないかと。</p> <p>休憩時間に先生たちが一緒に遊んでいる姿をよく見る。そのことが外遊びの奨励につながっていると思う。</p>	<p>地域に出て、学習する子供たちを見るときは生き生きしている。もともと、保護者や地域の人材に協力してもらった方がいい。学校運営協議会の在り方を見直し、強い連携体制を築くことが、喫緊の課題である。交通事故を無くすためにも、通学路の安全の見直し、スクールゾーンの設定等をお願いしたい。</p>
取組の適切さの検証結果に対する意見	<p>依然として学力が低いため、早急な授業改善が求めらる。先生方も忙しいと思うが、研修等を行って子供たちの指導に活かしてほしい。また、家庭の協力が必要であるため、学校全体で何度も啓発してほしい。各担任の先生にも保護者への連絡や放課後学習で頑張ってもらいたい。</p>	<p>いじめや暴力・暴言については、厳しく指導していかないと、先生による波及する。先生による指導力に差があるのは仕方ないけれど、見つけた先生が、その場できちんと指導すれば補えると思う。</p>	<p>朝食の摂取率が毎年向上している(93%)のは、学校からの啓発の成果だと思う。ゲームの依存率が高くなっていて、放課後も外で遊んでいる子供が少ないため、運動不足である。体育の時間を通じて運動の好きな子にするしかない。</p>	<p>学校や学級の様子を学校・学級だよりで紹介し、学校の取組が伝わっていると思う。しかし、文字が小さく読みにくいので、写真を入れたり、行事の告知を多くすると学校が身近になり、地域との関わりが増える。回覧板でも見ることができるようになったのでよかった。</p>
改善方法に向けての意見	<p>理科の成績が低いのは、宿題など出していきたくないのではないかと。低学力の子に具体的な手立てを打たないと子供は変わらない。今年度の結果を見て、例年低い結果になっているが、次年度こそは全国学力調査では平均との差が1桁、県との学力調査も平均との差が5桁以内を目指して頑張りたい。</p>	<p>登下校に見守り隊の人にだつてもらって喜んでいて子供も多い。先生や保護者が忙しいのはわかるが、かまわずしてほしい子に十分愛情を注いでほしい。</p> <p>年度当初から、生活のきまりや学習規律について、学校全体できちんと確認し、一丸となった指導をお願いする。</p>	<p>早寝早起きができない子が増えているため、保護者への発信に力を入れてほしい。情報教育にも力を入れて、外部講師やソフトを使って何度も指導してほしい。</p> <p>引き続き「早寝、早起き、朝ごはん」を呼びかけ、改善されていることを知らせることによって、相乗効果が生まれる。子供の将来を考えると、むし歯治療、歯磨き習慣も向上させたい。</p>	<p>コロナ禍ではあるが、安全に注意しながら少しずつ連携できることを増やしていけるようにしてほしい。また、連合自治会長を運営協議会の委員に選んでほしい。</p>

3 その他のご意見

今年度は地域教材を使って学んでいる姿が大家よかったです。しかし、学校運営協議会の研修に行く、他の学校では学校運営協議会委員がもつと関わっている事例を教えてください。来年度からは学校で研修会を開き、地域の人材のリソース作りをすることで強い連携が生まれる。遅刻してくる子供、1人で登校する子供を見かけます。集団登校しているとき(新年度2か月間)は殆ど見かけないが、冬になると多くなっていく。地域としては集団登校をしてほしいが、学校から指導できないものか。